

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	天電福祉工場
住 所	浜松市浜名区於呂4201-9
電話番号	053-583-1131

事業所番号	2217260013
管理者名	井上 裕一
対象年度	令和5年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>【活動場所】 静岡県浜松市天竜区青谷1461番地内に建設される、浜松市天竜清掃工場(天竜エコテラス) 破砕セクター</p> <p>【実施日程】 令和5年12月1日～開始。週3～4日（実施時間：5.5時間） ※令和6年4月1日～週5日（年間240日稼働） 【実施した生産活動・施設外就労の概要】 浜松市天竜清掃工場(天竜エコテラス) 施設整備運営事業の破砕セクター運転・維持管理におけるプラスチック製容器包装処理運転の手選別業務（請負業務）</p> <p>【利用者数】 15人/日</p>	<p><活動の様子></p> <p>コンベアから流れてくるプラスチックごみの中から不適物（びん、かん、ペットボトル、金属、ガラス、木くず、汚れているもの、生ごみ、プラスチック製品、ごみの収集袋）を取り除きます。</p>   <p>分別され、再生工場に持っていく前段階で、バールの検査をします。</p>  																									
<p><目的></p> <p>【地域連携活動のねらい】 清掃工場開設に伴い、浜松市として地元地域に根付いた会社への協力を求め、共生社会に向けて障がいがある方への働き先の開拓を念頭に平成29年から協議されてきた。今回当事業所が受託し、浜松市と運営会社（請負業者）と連携しながら、浜松市の活性化に繋げていくこと</p> <p>【地域にとってのメリット】 一般の方や小・中学生等の見学を多く受け、ごみの分別に関する理解促進に努めることが出来る。</p> <p>【対象者にとってのメリット】 収益増、事業内容の幅広い展開、従業員の賃金アップ等</p>	<p><成果></p> <p>【実施した結果・得られた成果】 浜松市が求める基準をもとに、性能検査等を実施し、バール品質をクリアし、令和6年4月～の本稼働に向けての準備を整えることが出来た。</p> <p>【課題点】 多くの従業員（ご利用者）に参加していただく機会の提供には繋がったが、クリーニング作業とは異なる作業内容であることから、心身の負担も多く、身体面・心情面へのケアが求められている。</p>																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品質評価</th> <th>評価項目</th> <th>破砕度</th> <th>容器包装比率</th> <th>禁忌品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td></td> <td>5点</td> <td>90%以上</td> <td>医療系廃棄物</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>3点</td> <td>85%以上 90%未満</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td>0点</td> <td>85%未満</td> <td>危険品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ランク判定</td> <td></td> <td>B</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	品質評価	評価項目	破砕度	容器包装比率	禁忌品	A		5点	90%以上	医療系廃棄物	B		3点	85%以上 90%未満	0	D		0点	85%未満	危険品		ランク判定		B	0
品質評価	評価項目	破砕度	容器包装比率	禁忌品																						
A		5点	90%以上	医療系廃棄物																						
B		3点	85%以上 90%未満	0																						
D		0点	85%未満	危険品																						
	ランク判定		B	0																						

連携先の企業等の意見または評価

<p>【連携した結果に対する意見または評価】 本事業に於いて、事業地域に根付いた福祉法人との連携は、地元の社会生活に必要なごみ処理インフラ事業の下支えとなり、長期に亘り障がい者の皆様が就労する場の創出に繋がるものであることから、多面的な地域貢献と捉えている。当年度下期のプラント試運転期間には、高負荷の作業にも関わらず業務習熟に御尽力いただき、浜松市の要求する施設性能を十分に満足する結果となった。層の厚い就労者の配置は、地元福祉法人としての強みが活かされたものであり、安定したプラント操業に寄与されている。</p> <p>【今後の連携強化に向けた課題】 20年間の長期事業期間を通して、事故・ケガなく地元雇用者が安全に就労できる環境の維持を最優先事項とする。作業環境の整備については福祉法人のご意見を取り入れた内容としていく。次に、無理なく長く安定した就業を継続するための相互連携を図ること。その上で、ごみの安定した処理、資源化に向けた取り組みを進める。多様な廃棄物から資源化物または異物の選別を円滑に行うため、業務理解度の向上に向けた取り組みが必要となる。今後も関係者と協調し、定期的な情報交換を実施することで問題点の早期解消に努める。</p>			
連携先企業名	新明和工業株式会社	担当者名	大山 啓介